

第 1 回郡山市上下水道事業経営審議会 議事概要

日 時	令和 8 年 6 月 5 日（金） 午前 1 0 時 1 5 分～午前 1 1 時 4 8 分
場 所	郡山市上下水道局 5 階 大会議室
出席者	【委員：11 名】 中野和典会長、小林裕子副会長、太田善雄委員、大槻礼子委員、長内秀樹委員、佐藤宗良委員、佐藤安男委員、関本賢治委員、橋本典子委員、藤沼祥子委員（オンライン） 明田想平委員 ※欠席者：阿部秀夫委員、渡邊博之委員 【事務局：19 名】 緑川上下水道事業管理者 外

1 開会	
事務局	第 1 回郡山市上下水道事業経営審議会を開会する。
2 会長あいさつ	
会 長	13 名の委員の皆様とともに、2 年の任期の中で、健全な上下水道の持続に向けて実行性のある答申を作っていければと思っているため、協力をお願いしたい。 審議に当たっては、委員の皆様から闊達なご意見いただきながら、円滑に会を進めて参りたい。
3 上下水道事業管理者あいさつ	
	上下水道事業を取り巻く経営環境は、物価高騰やエネルギー価格の上昇に加えて、施設の老朽化に伴う更新需要の増大など、これまで以上に厳しさを増している中、組織体制の見直しや、資産の有効活用などに取り組みながら、効率的で持続可能な事業運営に努めていく。 市民生活や事業活動を支える基盤として、上下水道サービスの安定的な提供を推し進めて行く事が不可欠であると考えているため、審議会では忌憚のない意見をいただきたい。
4 事務局紹介	
事務局	参考資料 1 郡山市上下水道事業経営審議会 事務局名簿により紹介に代えさせていただく。
5 審議	
事務局	出席 11 名、欠席した委員は 2 名。 郡山市上下水道事業経営審議会条例第 5 条第 2 項により、出席者が過半数であるため、本日の会議は成立していることを報告する。 議事は会長が議長となり進めていただく。
議 長	会議の公開、非公開を諮りたい。 事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【参考資料 3 の 2 郡山市附属機関等の会議の公開に関する要領】説明 【参考資料の 3 の 3 傍聴要領】説明
議 長	会議は公開、傍聴定員の上限は 10 名という方針で進めていく。 本日の傍聴者はいるか。
事務局	1 名いる。

議 長	傍聴者の入室を認める。
議 長	審議会のスケジュールについて事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【参考資料2】郡山市上下水道事業経営審議会開催スケジュール（予定）】説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
委 員	Q 委員も変わったことから、今年3月に出された前審議会の答申がどのようなものであったか説明いただいたほうがいいのではないかと。
事務局	A 前回の答申書を次回の勉強会で説明させていただく。
① 郡山市上下水道事業について（資料1）	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料1】郡山市上下水道事業について】説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
議 長	Q 令和4年度から簡易水道を所管する部署が上下水道局になったということだが、水道料金との格差をどのくらいの時間をかけて解消する見込みか。
事務局	A 令和13年度までに3段階で引き上げをするもので、条例で決まった料金となっている。2段階目として、今年度6月からの値上げのお知らせを配布しているところである。
委 員	Q 条例制定前に地区説明会があったが、各地区に分かりやすい通知をお願いしたい。
事務局	A 料金改定の通知については、中田、湖南、熱海地区に送付したところである。
② 令和8年度上下水道局当初予算について（資料2）	
議 長	事務局から説明をお願いしたい。
事務局	【資料2】令和8年度上下水道局当初予算について】説明
議 長	委員から意見等あればお願いしたい。
委 員	Q 1 以前用語集を参考資料としていただいたことがある。最新版を作成いただけると理解に役立つと思う。 Q 2 資料にある「協奏部局」とはどういったものか。
事務局	A 1 用語集については、早急に準備したい。 A 2 「協奏部局」については、各事業に関連する部局を示している。
委 員	Q 下水道事業の当初予算の収入と支出を見ると、赤字予算という風に見える。上下水道ビジョンの時に示されたものは黒字キープだったと思うが、初年度から赤字となるのか。
事務局	A お見込みのとおり、下水道事業会計については赤字予算を組んでいる。下水道管理センターの施設の撤去に伴い、多額の除却費、資産減耗費を計上したことにより純損失となる見通しであるが、将来にわたる維持管理費の削減や、施設の集約化による経営効率のために不可欠な、将来への投資的コストで放漫経営による赤字ではない。
委 員	Q 放漫経営かという観点ではなく、市上下水道ビジョンの第7次投資・財政計画、令和8年度から令和17年度というものが以前提示されていたが、実質的に大きく下振れするかどうかという観点で教えていただきたい。
事務局	A 直近の決算状況も踏まえて、若干下振れはすると思う。
委 員	Q 【資料2】の湖南地区公共下水道の計画見直しについてだが、住民説明会があり、下水道管の整備が難しいため、高度処理型合併処理浄化槽を使って推進していくという内容

	であった。 当初の計画のとおり本管だけでも入れるべきなのではという住民の意見もあるほか、猪苗代湖の水を守っていくという点からも、今回の見直しについて市でも検討していただきたいと思っている。
事務局	湖南地区の特定環境保全公共下水道の今後の見直しは、猪苗代湖の環境を守るほか、湖南地区については、人口減少が市街地と比較して、大きいという背景から、今後の将来世代の負担軽減ということを目的に、事業計画を今年度見直しさせていただく。 下水道以外の区域については、窒素リンを除去できる高度処理合併処理浄化槽を普及させていくということで地元にも説明させていただいたことからご理解いただきたい。
委 員	本管が入っているところでも、接続する人が非常に少ないといった問題もあるため、接続しやすいようにするにはどうすればいいかということも利用者と市とで考えていかなければならないと考えている。
議 長	資料 2 1 ページの施設の老朽化の数字だが、更新した分は老朽化の率から除かれているか。
事務局	お見込みのとおり、実績値が入っており更新値は入っていない。
議 長	令和 6 年の 37.8%というのは、単純に 40 年経ったものであって、更新したかどうかは入っていないという見方でよいか。
事務局	更新率はまた別にあり、当該グラフは全体延長のうち、40 年経過した管の率になっている。
委 員	下水道の当初予算の国の補助のところだが、埼玉の陥没事故のような大きな事故が起こった場合、国の特別な災害補助はあるのか。
事務局	緊急輸送路に埋設されている下水道の点検は、7 年や 5 年の法定点検をしており、現在は、国の補助金を使って計画的な修繕を計画している。
委 員	もし事故が起こった場合、国から補助があるのか。
事務局	地震や水害などの激甚災害に伴うものについては、災害復旧補助という国の補助があるが、老朽化に伴う事故についての補助はない。
議 長	今回は勉強会を予定している。新しく委員になった方は難しかったかと思うが、その意味で勉強会も必要だということをご理解いただきたい。 委員からの質問がなければ終了する。
6 閉会	
事務局	一点補足となるが、チラシを配布させていただいた。物価高騰に対する緊急対策として、6 月検針分から 11 月検針分まで水道料金の準備料金を免除するということを知らせるもので、6 月の検針に合わせて市内の全戸、水道利用者に配布している。 以上をもって、第 1 回郡山市上下水道事業経営審議会を閉会する。